

2002年5月10日

報道関係各位

ノバルティス ファーマ株式会社

ノバルティス ファーマが発表しました免疫抑制剤「ネオール®」に関するリリースの日本語訳抜粋をご参考までにお届けします。

### 腎移植における「ネオール®」の C<sub>2</sub> モニタリングを用いた 臨床試験 (MO2ART) の中間成績

#### 2002年5月2日、スイス・バーゼル発

MO2ART<sup>1</sup> 臨床試験の中間成績において、「ネオール® (一般名: シクロスポリン)」による免疫抑制療法で C<sub>2</sub> モニタリング (投与後 2 時間目の血中濃度測定) を用いた場合、腎移植患者における急性拒絶反応の発現率が 10% であったことが明らかとなりました。この中間成績は、ワシントンで開催されたアメリカ移植学会 (アメリカ移植外科学会およびアメリカ移植学会の共同年次総会) で発表されました。

1 MO2ART: Monitoring Of 2-hour Neoral Absorption in Renal Transplantation

ブリティッシュ・コロンビア大学のポール・キオン博士は次のように述べています。「この値は、これまでの多国間多施設臨床試験における、シクロスポリンを基礎免疫抑制剤とした 3 剤併用療法で見られた急性拒絶反応発現率の中で最も低いものです。これらのデータは、患者個々の状態に適した免疫抑制療法こそが臓器移植の将来像であるという私の信念を、確固たるものにしてくれました」

C<sub>2</sub> モニタリングとは、ネオール® 投与後 2 時間の時点で血中濃度を測定する方法です。従来の C<sub>0</sub> モニタリング (服薬前の最低血中濃度測定) に比べて、急性拒絶反応および副作用の発現率が減少することが確認されています。

\* \* \*

上記の発表には、現時点での将来への予想と期待が一部含まれております。従って、その内容に関しては、また将来の結果については、不確実な要素や予見できないリスクなどにより、将来の結果が現在の予想と異なる可能性があることをご了解ください。なお、詳細につきましては、ノバルティスが米国証券取引委員会に届けております Form 20-F をご参照ください。

ノバルティスは、医薬品、コンシューマーヘルス、ジェネリック、アイケア、動物薬を事業の柱とする、ヘルスケアにおける世界的リーダーで、ニューヨーク証券取引所に上場しています。ノバルティスグループの 2001 年度の売り上げは 320 億スイフラン (約 2 兆 2,400 億円)、研究開発には約 42 億スイフラン (2,940 億円) を投資しています。スイス・バーゼル市に本拠を置くノバルティスは、約 72,600 人の社員を擁し、世界 140 カ国以上で事業を行っています。詳細は、<http://www.novartis.com> をご覧ください。

以上